

2017/12/01

兼子正勝

【自宅学習課題】

映画「東京物語」（小津安二郎、1953）を見て、サーバ上のシステムでコメントをおこなう。

この映画は、構図や人物関係に非常に特色があり、世界的に「きわめて日本的であり、日本を代表する映画」とみなされており、最近学習した「ソナチネ」（北野武、1993）に通じるところがある。

使うシステムは、web ブラウザ上で動画を閲覧しながら、動画に線分または矢印を引き、その線分・矢印にコメントをつけるというものである。したがって構図や人間関係についてコメントすることが容易にでき、コメントしながら構図等に関する意識が深まることが期待される。

学習課題としては、「東京物語を視聴して、システム上で、構図や人間関係について、10 個以上コメントすることとします

【手順】

1) 以下にアクセスする

http://dev03.oz.hc.uec.ac.jp/~aoki/2_1_annotation/web/index

これは兼子研究室で開発している「(2+1)次元映像アノテーション」のサイトです

リンクからでない場合

電通大・兼子研 <http://oz.hc.uec.ac.jp>

- ▶ メニューからアクティビティ
- ▶ 一番したの、「(2+1)次元映像アノテーション」のリンクから飛ぶ

2) 最初に使う場合

- ページに使い方が書いてありますので、よく読んでください

- 最初から 10 行目くらい「ユーザ登録はこちら」からユーザ登録をする
- 登録名は、学籍番号からアルファベットをとった（数字だけの）ものにしてください
- パスワードは任意に設定してください。ただし、自分が重要なサービスに使っているパスワードは、ここでは使わないでください

3) 2回目以降

- 「登録済みの方はこちら」から、登録名・パスワードを入れて使ってください

4) ログインしてサービスに入ったところ

- 動画サンプルが並んでいます、すべて著作権の問題がないものです
- 東京物語は、10 ファイルに分かれています。全部見るのが理想ですが、課題としては、東京物語 6, 7, 8, のファイルから、任意の場所に、1人10個以上のコメントを残すこととします
(あとで課題クリアしたかどうか調べます)

5) それぞれの映像視聴ページ

- 映像視聴ページは、基本的には Youtube 風の視聴画面とコメント欄などからできています。
- ただ、再生ボタンの下部にいくつか独自機能があります
- 右下（再生ボタンのすぐ下）が「目」のアイコンになっているとき、視聴とコメントの記入ができます
- このとき、画面上をドラッグして線を書いてみてください
- 線を維持したままで、下にコメントを書き込み、投稿ボタンを押してください
- これで、線分に投稿したことになります
- 「目」のアイコンをクリックすると、過去に投稿された線分を時系列にしたがって表示していきます。線分をクリックすると対応するコメ

ントが表示されます。

- 「東京物語」には、映像研究者の著書からの引用も入っています。
- 全体として使い方は、システムの最初のページに詳述されていますから、参考にしてください。

【期間】

課題をおこなう期間は、2018年12月8日から12月22日とします。

以上